

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019年6週 (2月1週 2/4~2/10)

2019年1月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、麻しん・風しん

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、ヒトメタニューモウイルス感染症、マイコプラズマ感染症等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(2)、ウイルス性肝炎(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(10)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(10)、百日咳(17)、風しん(2)、麻しん(3)

◇2019年1月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
2月4日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、清須、衣浦東部	集団かぜの発生について (2018-2019 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran18-19.pdf
2月5日	瀬戸、春日井、豊川、津島、江南、知多、清須、衣浦東部	
2月6日	豊川、津島、江南、知多、衣浦東部	
2月7日	一宮、津島、江南、衣浦東部	

【参考ページ】

名古屋市長官舎市：集団かぜによる学級閉鎖等の状況 (2月12日更新)
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>
 豊田市長官舎市：豊田市内でのインフルエンザ、集団かぜの発生状況 (2月1日更新)
<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/kenkou/eisei/1003067.html>
 豊橋市長官舎市：インフルエンザの流行状況 (2月12日更新)
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm>
 岡崎市長官舎市：インフルエンザ、集団かぜの発生状況 (2月12日更新)
<http://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

◆インフルエンザ【12月27日警報発令】(図)

6週の定点当たり報告数は22.64、5週7,455人→6週4,415人です。2018/2019 シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)及びB型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】インフルエンザの発生状況について (2月7日更新)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000008888.html>

“インフルエンザ警報”を発令します！(12月27日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/30inlu-keihou.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

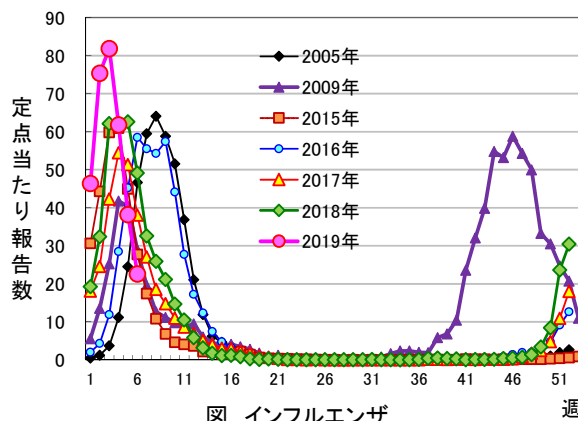


図 インフルエンザ

◆麻しん・風しん(表) (2月13日現在、診断日集計)

愛知県では2019年に入り麻しんが18件(うち1月14件、2月4件)報告されています。愛知県の2018年麻しんの報告数は37件、2017年総報告数は1件でした。全国の2019年5週(診断週)までの累積報告数は148件、2018年の総報告数は282件です(2017年総報告数は189件)。

愛知県の2019年風しんの報告数は7件(うち1月4件、2月3件)です。愛知県の2018年風しんの報告数は119件、2017年総報告数は3件でした。全国の2019年5週(診断週)までの累積報告数は367件、2018年総報告数は2,917件です(2017年総報告数は93件)。

【参考ページ】麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/pressrelease-measles190131.html>

名古屋市長官舎市：市内における麻しん(はしか)の発生状況

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

風しんの患者数の増加に伴う注意喚起について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000061107.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2019)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

表 風しん・先天性風しん症候群(CRS)報告数
(全国及び愛知県、2019年2月13日現在)

年	全国		愛知県	
	風しん	CRS	風しん	CRS
2012年	2,386	4	98	
2013年	14,344	32	375	2
2014年	319	9	21	
2015年	163		13	
2016年	126		20	
2017年	93		3	
2018年	2,917		119	
2019年(※)	367	1	7	

※全国は5週(診断週)、愛知県は2月13日(診断日)まで

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- インフルエンザはすべてA型 26例と減少
ヒトメタニューモウイルス(+) 9人 1歳～6歳
先週分から 9歳男 腸炎エルシニア検出
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- インフルエンザ流行沈静か？
【一宮市 後藤小児科医院】
- 便 ロタウイルス 1人
【一宮市 ささい小児科】
- インフルエンザA型 21名で先週より減少
hMPV 3名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- インフルエンザ 41名(すべてA型)
溶連菌感染症 12名
伝染性紅斑 4名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルエンザA 36例(すべてH1N1pdm)
溶連菌 3例
伝染性紅斑、手足口病 各1例ずつ
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフルエンザは52名で、すべてA。
総数は先週からやや減った程度ですが、週末にかけて激減傾向
溶連菌 21名
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザ 18名
【北名古屋市 田中クリニック】
- 溶連菌 4例
インフルエンザ 18例 全てA型です。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 31名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- B型インフルエンザ 1名
A型インフルエンザ 2回罹患者 1名
【あま市 医療法人村上医院】
- インフルエンザA型 29名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザA型 29名
胃腸炎 9名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ減少(A型 8名、B型 3名)
インフルエンザ以外のウイルス性気管支炎や
マイコプラズマ感染症が目立ちました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 10人
【長久手市 医療法人水野内科】
- インフルエンザ陽性報告 28名(成人13名、
小児15名、A型27名、B型1名)
インフルエンザの増加は止まったようです。
脳症の入院がありました。
【春日井市 春日井市民病院】
- A型インフルエンザ 19例と減少
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザはすべてA型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザ 男 1人
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- マイコプラズマ肺炎がまだ少しみられます。
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザA型 11人
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザA型 21人
【南知多町 医療法人大岩医院】
- インフルエンザA型 27名
アデノウイルス感染症 4歳女
マイコプラズマ感染症 8歳女
カンピロバクター腸炎 10歳女
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザ 全員Aです。
アデノウイルス感染症 3名
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 40名
インフルエンザB型 0名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- インフルA型 21名
臨床症状にてインフル(+) 2歳男
StrepA(+) 7歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA型 10名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルA型 9名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザ 計15名 全てA型
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザ 全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザA型 9名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- アデノ(咽) 2歳男
インフルエンザ 37例(全例A型) 減少傾向です。
溶連菌がやや増加
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 伝染性紅斑が散見されます。
インフルエンザ感染症は全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザは全てA型です。
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザA型 13名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザはすべてA型
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 52名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- 全てA型でした。
【安城市 医療法人鳥居医院】
- インフルエンザA 51名
インフルエンザB 3名
ヒトメタニューモ 1名
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザA型 34名 B型 0名
【西尾市 西尾市民病院】
- インフルエンザ減少(全てA型 23名)
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- インフルエンザ 27件(A型)
【豊橋市 豊橋市民病院】
- インフルエンザA型 流行中
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 17名
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザA型 25名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 8名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 64名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- インフルエンザA 15名
【豊川市 豊川市民病院】
- インフルエンザA型 20人
インフルエンザは前々週、前週よりさらに減少しました。
【豊川市 ささき小児科】
- インフルエンザA 36名
アデノウイルス 2名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年2月13日現在

ー ～ 三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準

● 結核（二類感染症）<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun190101.pdf>

報告保健所	2019年6週報告数			2019年総計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	14	2	4	58	13	15
豊田市				4		1
豊橋市	3	2		4	2	
岡崎市				3	1	
一宮	3	1	1	5	1	3
瀬戸	3	2	1	9	4	3
半田				2	1	
春日井	1			7	3	2
豊川	1			3		
津島	3		1	10	4	2
西尾						
江南				1		
新城						
知多	2		1	4		3
清須						
衣浦東部				6	1	1
合計	30	7	8	116	30	30

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	岡崎市	2歳	女	2/3	2/4	2/6	O157、VT2(+)、HUS発症例
2	豊川	11歳	男	2/1	2/2	2/4	O157、VT型不明
3	豊川	43歳	女	-/-	2/9	2/9	O血清型不明、VT1(+) 無症状病原体保有者
4	衣浦東部	57歳	男	1/31	2/4	2/7	O111、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	83歳	女	肺炎型	不明

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	豊田市	45歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
2	新城	43歳	女	腸管アメーバ症	不明	国内

● ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	予防接種歴	感染経路	感染地域
1	名古屋市	27歳	女	B型	不明	性的接触	国内
2	豊橋市	75歳	男	B型	不明	不明	国内

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	83歳	男	不明	国内	無
2	名古屋市	57歳	男	その他	国内	無
3	瀬戸	38歳	女	不明	国内	無
4	半田	78歳	男	不明	国内	無
5	豊川	73歳	男	不明	国内	無
6	衣浦東部	82歳	男	以前からの保菌、手術部位感染	国内	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	2歳	男	病原体不明	国内
2	衣浦東部	7歳	男	病原体不明	不明

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	豊川	85歳	女	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	45歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	40歳	女	無症候性キャリア	性的接触、その他	タイ

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	江南	33歳	男	無	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	85歳	男	無	国内
2	岡崎市	91歳	女	不明	国内
3	岡崎市	75歳	女	不明	国内
4	瀬戸	51歳	男	無	国内
5	津島	80歳	男	無	国内
6	津島	85歳	男	無	国内
7	西尾	69歳	女	不明	国内
8	西尾	69歳	男	不明	国内
9	知多	79歳	男	不明	国内
10	衣浦東部	31歳	男	無	不明

● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	一宮	9歳	女	不明	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	23歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	34歳	男	無症候	性的接触	国内
4	豊田市	39歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	豊田市	27歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	豊橋市	23歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	瀬戸	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	春日井	66歳	男	晩期顕症	性的接触	不明
9	豊川	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
10	江南	39歳	女	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	13歳	男	不明	流行有（学校）
2	名古屋市	41歳	女	不明	国内
3	名古屋市	68歳	女	不明	国内
4	名古屋市	0歳	女	有（1回）	国内
5	名古屋市	0歳	男	無	家族内感染
6	名古屋市	0歳	男	無	国内
7	一宮	9歳	男	不明	国内
8	一宮	12歳	女	不明	国内
9	江南	12歳	男	有（追加接種有）	国内
10	江南	6歳	男	有（追加接種有）	国内
11	江南	0歳	男	無	家族内感染
12	知多	12歳	男	有（追加接種有）	国内
13	知多	10歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
14	清須	5歳	男	有（追加接種有）	国内
15	清須	8歳	男	不明	家族内感染
16	清須	13歳	女	不明	家族内感染
17	衣浦東部	11歳	女	有（追加接種有）	国内

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	39歳	男	不明	不明
2	豊田市	54歳	男	無	不明

● 麻疹（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊橋市	33歳	女	有	国内
2	豊橋市	36歳	女	有	国内
3	瀬戸	29歳	女	有	国内

2019年1月報

(2019年2月12日現在、診断週に基づく集計)

1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2019年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2019年1月			2018年	2017年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	総計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	42 (11)	45 (11)	87 (22)	1,546 (413)	1,533 (433)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	3 (1)	4 (1)	154 (46)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	6	6
	A型肝炎	1	0	1	35	17
	エキノкокクス症	0	0	0	1	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	1	1
	つつが虫病	0	0	0	2	4
	デング熱	3	0	3	22	23
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	2	1
	類鼻疽	0	0	0	1	0
	レジオネラ症	9	1	10	162	102
	レプトスピラ症	0	0	0	1	0
五類 (24)	アメーバ赤痢	5	4	9	45	57
	ウイルス性肝炎	2	1	3	7	10
	内訳	B型	2	1	3	6
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	6	3	9	156	117
	急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	11	-
	急性脳炎	12	4	16	38	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	3	7	44	37
	後天性免疫不全症候群	0	4	4	96	72
	内訳	無症候性キャリア	0	3	3	70
		AIDS	0	1	1	23
		その他	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	3	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6	2	8	33	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	1	1	4	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	12	11	23	212	208
	水痘(入院例に限る。)	2	0	2	28	20
	梅毒	15	16	31	454	344
	内訳	無症候	5	4	9	125
		早期顕症	8	12	20	315
		晩期顕症	2	0	2	14
		先天梅毒	0	0	0	0
	播種性クリプトкокクス症	0	0	0	17	12
	破傷風	0	0	0	5	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	0
	百日咳*	27	25	52	430	-
	風しん	2	2	4	119	3
	麻しん	8	6	14	37	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
総 計		157	132	289	3,687	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2019年1月			2018年 総計		2017年 総計	
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
							合計		合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	24	50	74	894	1,575	909	1,586
		女	24	17	41	681		677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	10	19	242	578	223	536
		女	18	11	29	336		313	
	尖圭コンジローマ	男	12	8	20	217	322	211	307
		女	4	0	4	105		96	
	淋菌感染症	男	18	37	55	552	630	462	528
		女	5	3	8	78		66	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		86	1	87	984		1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		8	0	8	120		154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	0	1	2		3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2019年1月			2018年 総計	2017年 総計
	愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

2019年6週(2019年2月4日～2019年2月10日)

[illegible]

愛知県感染症情報

2019年6週(2019年2月4日～2019年2月10日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
	インフル エンザ (鳥インフル エンザ等感 染症を除く。)	RS ウィルス感 染症	咽 頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感 染性胃腸炎	水 痘	手 足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結 膜炎	流 行性角結膜 炎	細菌性髄膜 炎	無 菌性髄膜 炎	マイ コプラズマ 肺炎	クラ ミジア肺炎 (オウム病を 除く。)	感 染性胃腸炎 (病原体がロ タウイルスで あるものに 限る。)	イン フルエンザ による入院 患者
計	3,248	36	25	275	500	22	4	48	35	1	6	0	9	1	0	5	0	6	38
～6ヶ月	19	8			3														1
～12ヶ月	52	6	3	3	23	1			17				1						
0歳																		1	
1歳	131	17	6	8	55	2	2	1	13									1	
2歳	141	4	4	3	75			2	5									1	1
3歳	179	1	2	22	48			5					1						1
4歳	226		4	40	45	4		14			1							1	
5歳	220		1	53	40	2		5											
6歳	227		2	47	31	3	1	10		1									1
7歳	194		1	31	26	1		7			1								
8歳	202			20	14	4	1	1			1								1
9歳	149			14	16	1		1			3								
5歳～9歳														1		3		2	
10歳～14歳	516		2	24	38	4		2					1			1			
15歳～19歳	101			4	14								1						
20歳～				6	72														
20歳～29歳	121																		
30歳～39歳	201												1						1
40歳～49歳	151																		1
50歳～59歳	124												2						5
60歳～69歳	107												1						1
70歳～													1						
70歳～79歳	91																		11
80歳以上	96															1			14